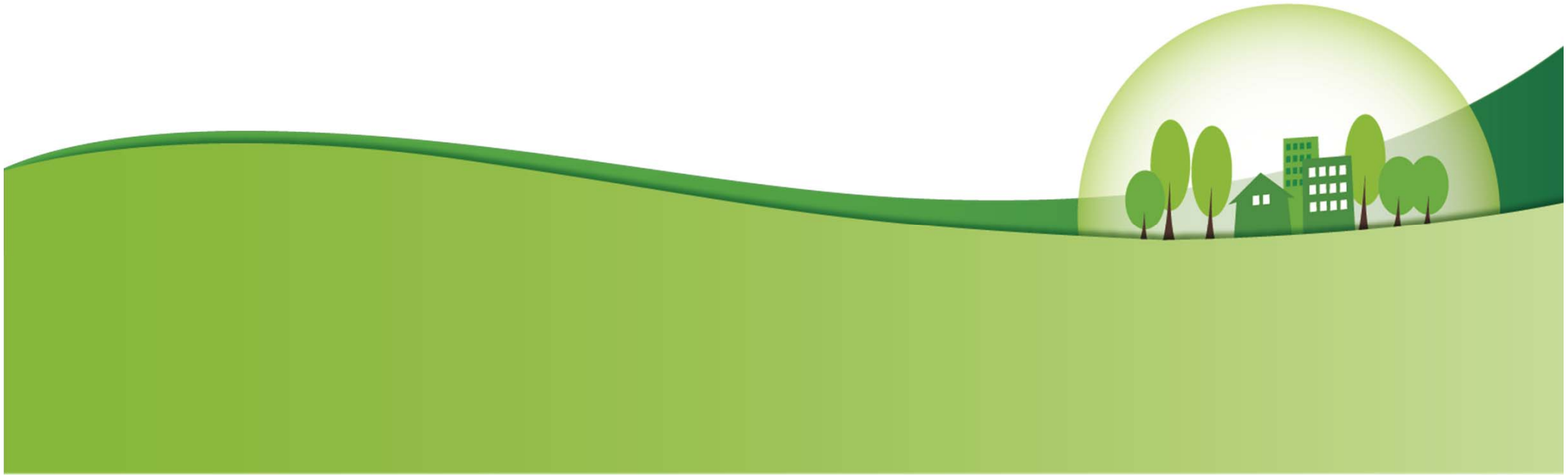
2014年３月期第２四半期
決算説明会

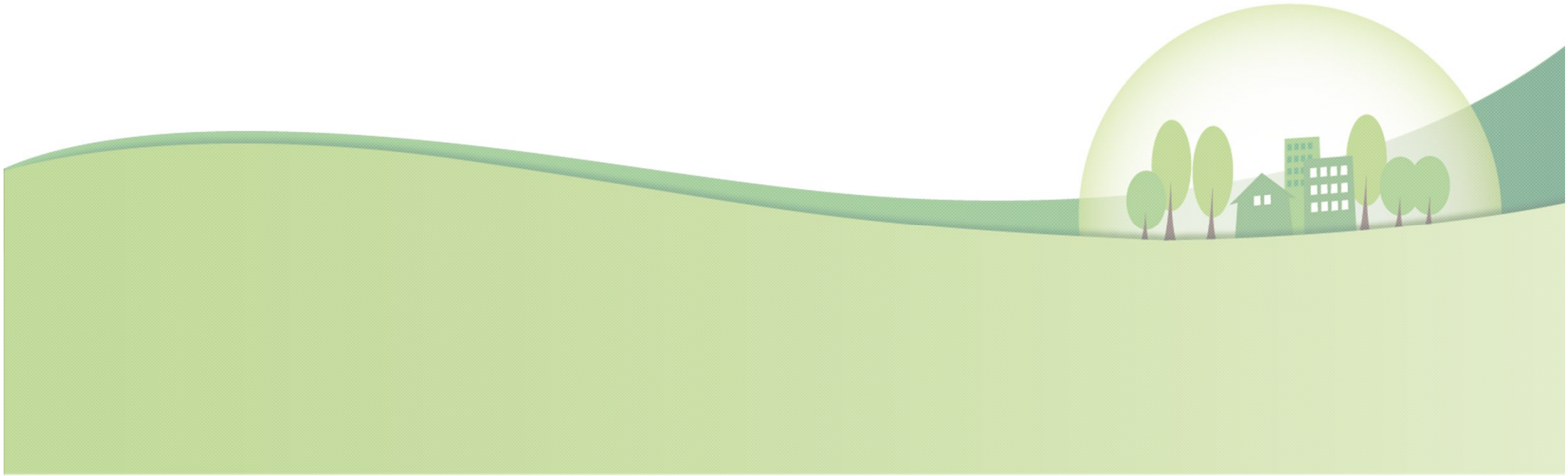
平成25年11月18日

株式会社 アサンテ

証券コード6073



2014年３月期　第２四半期決算概況



2014年３月期第２四半期　事業環境

- 景気は穏やかに回復し個人消費は底堅く推移
- 既存家屋の保全への関心度は依然高い
- 急激な労働需給の逼迫

2014年３月期第２四半期　当社の取り組み

■経営体制・ガバナンス体制の強化

◆ 取締役の新任　　◆ コンプライアンス・リスク管理体制の強化

■2013年４月　京都支店開設

◆ 西日本エリア展開の足掛かりとして進出　　◆ 中期的に業績拡大を見込む

■TV・ラジオCM

◆ 営業エリアを中心として４～６月に実施

■シロアリ注意報

◆ 広域な営業エリアから情報を収集し、当社HPにて公開

■プレス向けセミナー

◆ シロアリ対策の重要性について、外部専門家による講演を開催

■設立40周年関連

◆ お客様向けキャンペーンを展開

特別損失、特別利益の発生について（7月23日公表）

■ 特別損失　116百万円

◆ 三ヶ日総合研修センター建替え実施の決定に伴い、既存建物について減損損失が発生。

■ 特別利益　201百万円

◆ 当社保有の投資有価証券を売却し、売却益が発生。

【損益・キャッシュフローへの影響（第2四半期累計期間）】

（損益）　純利益を52百万円押し上げる要因となった。

（キャッシュフロー）　214百万円の収入（投資CF）

設立40周年記念配当の実施について（11月11日公表）

当社は2014年３月期の期末配当において、１株当たり3円の記念配当を実施することといたしました。

■ 配当の内容

	１株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 （2013年５月14日発表）	―	22.00円	22.00円
今回予想	―	**25.00円 （普通配当　22.00円） （記念配当　3.00円）**	**25.00円 （普通配当　22.00円） （記念配当　3.00円）**
前期実績 （2013年３月期）	―	20.00円	20.00円

※ 本件は2014年６月下旬に開催予定の第41期定時株主総会に付議する予定。

2014年３月期第２四半期　決算実績

- 売上高は、白蟻防除関連が好調に推移して前年同期間比4.5%増。
- 経常利益は、材料費率上昇や計画的コスト増により2.1%増。同率は0.5ポイント低下。
- 四半期純利益は、特別利益と特別損失の影響もあり同5.5%増。
- １株当たり四半期純利益は、株式数増加の影響により同7.8%減。

（単位：百万円）

	2013年３月期 第２四半期累計期間		2014年３月期 第２四半期累計期間			
	実績	構成比（%）	実績	構成比（%）	差異	増減率（%）
売上高	6,689	100.0	6,987	100.0	298	＋4.5
売上総利益	4,937	73.8	5,120	73.3	183	＋3.7
販売費及び一般管理費	3,278	49.0	3,432	49.1	154	＋4.7
営業利益	1,658	24.8	1,687	24.2	29	＋1.8
経常利益	1,644	24.6	1,678	24.0	34	＋2.1
四半期純利益	995	14.9	1,050	15.0	55	＋5.5
１株当たり四半期純利益(円)	94.78	―	87.42	―	△ 7.36	△ 7.8

2014年３月期第２四半期　業績予想比実績

- 売上高は、HA事業において白蟻防除が計画ほど伸びず達成率96.0%。
- 経常利益は、材料費率が上昇したが人件費の計画比マイナス、その他費用の適正管理により、達成率96.5%。同率は0.1ポイントのプラス。
- 四半期純利益は、特別利益と特別損失の影響もあり予想通り。

（単位：百万円）

	2014年３月期第２四半期累計期間予想		2014年３月期第２四半期累計期間実績			
	予想値	構成比（%）	実績	構成比（%）	差異	達成率（%）
売上高	7,278	100.0	6,987	100.0	△290	96.0
売上総利益	5,356	73.6	5,120	73.3	△235	95.6
販売費及び一般管理費	3,614	49.7	3,432	49.1	△181	95.0
営業利益	1,742	23.9	1,687	24.2	△54	96.9
経常利益	1,739	23.9	1,678	24.0	△61	96.5
四半期純利益	1,049	14.4	1,050	15.0	0	100.1
１株当たり四半期純利益(円)	86.84	―	87.42	―	0.58	100.7

2014年３月期　通期業績予想進捗

- 今期業績予想（５月14日公表）に対し、進捗率に遅れが生じている（四半期純利益を除く）。
- 下半期は売上高、利益とも上半期比減少計画だが、巻き返しを図る。

（単位：百万円）

	2014年３月期 通期業績予想	2014年３月期 第２四半期累計期間	
	予想値	実績	進捗率（%）
売上高	13,040	6,987	53.6
営業利益	2,348	1,687	71.9
経常利益	2,344	1,678	71.6
当期（四半期）純利益	1,341	1,050	78.3
１株当たり当期（四半期）純利益（円）	110.07	87.42	79.4

2014年３月期第２四半期　セグメント別決算実績

- HA事業は全区分で増収し、売上高は4.5%増。材料費率の上昇等によりセグメント利益は3.1%増に止まった。
- TS事業は、売上高は前期並み。人件費の減少によりセグメント利益は増加。
- 全社費用は計画的コスト増により前期比8.6%増加し、利益率低下要因となった。

（単位：百万円）

	2013年３月期 第２四半期累計期間		2014年３月期 第２四半期累計期間		
	実績	構成比（%）	実績	構成比（%）	増減率（%）
HA事業売上高	6,579	98.4	6,877	98.4	＋4.5
うち 白蟻防除	3,192	47.7	3,239	46.4	＋1.5
うち 床下等換気システム	1,597	23.9	1,727	24.7	＋8.1
うち 基礎補修・家屋補強	1,573	23.5	1,667	23.9	＋5.9
うち その他	215	3.2	243	3.5	＋13.2
HA事業セグメント利益	2,164	—	2,232	—	＋3.1
TS事業売上高	109	1.6	110	1.6	＋0.5
TS事業セグメント利益	4	—	9	—	＋113.3
全社費用	510	—	554	—	＋8.6
営業利益	1,658	24.8	1,687	24.2	＋1.8

2014年３月期第２四半期　主な経費実績

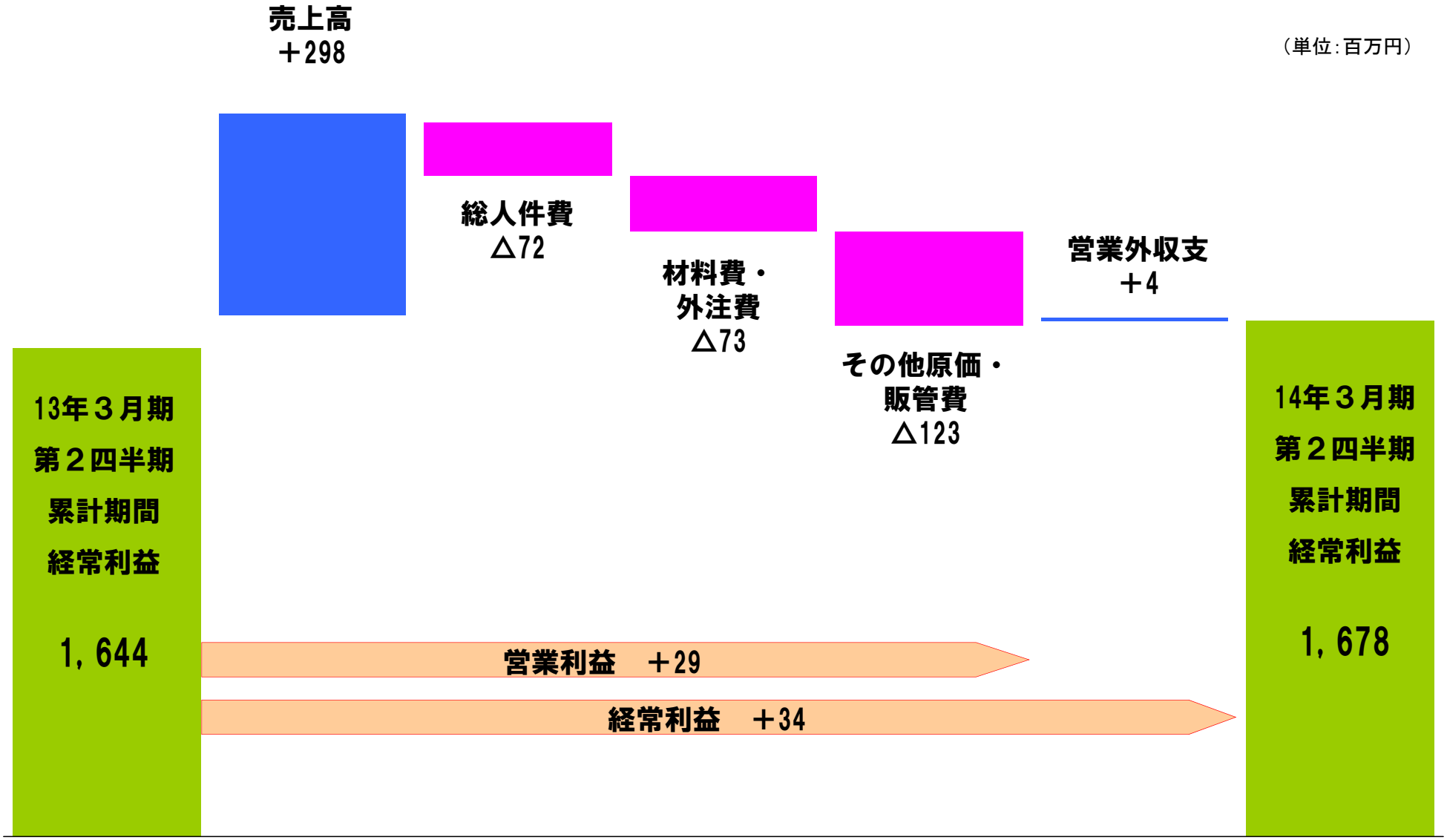
- 売上原価は、商品構成の変化に伴う材料費の増加があったものの6.6%増に止めた。
- 販・管費は、人件費が2.0%の増加に止まったことで他コスト増加分を概ね吸収し、4.7%増。

（単位：百万円）

	2013年３月期 第２四半期 累計期間	2014年３月期 第２四半期 累計期間	差異	増減率（%）
売上高	6,689	6,987	298	＋4.5
売上原価	1,751	1,867	115	＋6.6
うち材料費	769	843	74	＋9.6
うち労務費	618	646	28	＋4.6
販売費及び一般管理費	3,278	3,432	154	＋4.7
うち人件費	2,193	2,238	44	＋2.0
総人件費	2,811	2,884	72	＋2.6
売上高労務費比率	9.2%	9.3%	0.0ﾎﾟｲﾝﾄ	―
売上高人件費比率	32.8%	32.0%	△ 0.8ﾎﾟｲﾝﾄ	―
売上高総人件費比率	42.0%	41.3%	△ 0.8ﾎﾟｲﾝﾄ	―

2014年３月期第２四半期　経常利益増減分析

（単位：百万円）



2014年３月期第２四半期　貸借対照表

（単位：百万円）

	2013年３月期	2014年３月期 第２四半期	増減額	増減要因
現金及び預金	3,560	4,429	869	営業CF ＋968　投資CF ＋180 財務CF △279（借入金△50　配当金△237）
売掛金	1,597	1,757	159	売上増（今期ⅡQ＞前期ⅣQ）
有形固定資産	4,290	4,169	△ 120	減損損失
投資その他の資産	764	774	10	投資有価証券売却による減少△88 繰延税金資産＋57　前払年金費用＋52
資産合計	10,643	11,598	955	
買掛金	237	234	△ 2	
長短借入金	1,298	1,248	△ 50	
未払法人税	509	777	268	
負債合計	3,649	3,815	166	
株主資本	6,946	7,783	837	ｽﾄｯｸｵﾌﾟｼｮﾝ権利行使による株式発行＋26 利益剰余金＋810 （四半期純利益＋1,050　配当金支払△239）
純資産合計	6,994	7,783	788	

2014年３月期第２四半期　キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	2013年３月期 第２四半期 累計期間	2014年３月期 第２四半期 累計期間	増減額	増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	811	968	157	税引前四半期純利益の増加＋118 減損損失＋116 売上債権増加額の減少＋165 投資有価証券売却益△201 法人税等の支払額減少＋136
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 34	180	214	投資有価証券の売却収入＋214
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 333	△ 279	53	借入金収支（返済超過額）の減少＋109 配当金支払額の増加　＋81
現金および現金 同等物の増減額	443	869	426	
現金および現金 同等物の期首残高	1,957	3,560	1,602	
現金および現金 同等物の期末残高	2,400	4,429	2,028	

2014年３月期第２四半期　経営指標

	2013年３月期 第２四半期	2014年３月期 第２四半期	増減
流動比率（%）	187.0%	270.7%	83.8ポイント
自己資本比率（%）	59.8%	67.1%	7.3ポイント
有利子負債依存度（%）	13.5%	10.8%	△2.7ポイント
１株当たり四半期純利益（円）※	94.78	87.42	△7.36
１株当たり純資産（円）	547.85	645.70	97.85

※ 第２四半期累計実績

2014年3月期下半期　当社の取り組み予定

- 営業人員体制の整備
- 駆け込み需要の積極的取り込み
- 売上推移に応じた費用の適正管理、抑制

2014年３月期　決算予想

※ 業績予想は、直近の予想値（５月14日公表）からの修正はありません。

※ 配当予想は、11月11日付にて修正いたしました。

2014年３月期　業績予想

※ 直近の予想値（5月14日公表）からの修正はありません。

- **売上高は前期比8.0%増の130億円**　（2013年３月期並みの増加率を維持）
- **経常利益率は同0.3ポイント改善の18.0%へ**　（高水準の利益率を維持、向上）

（単位：百万円）

	2013年３月期　通期	2014年３月期　通期業績予想		
	実績	予想値	構成比（%）	増減率（%）
売上高	12,079	13,040	100.0	8.0
売上総利益	8,733	9,432	72.3	8.0
販売費及び一般管理費	6,545	7,083	54.3	8.2
営業利益	2,188	2,348	18.0	7.3
経常利益	2,135	2,344	18.0	9.8
当期純利益	1,205	1,341	10.3	11.2
1株当たり当期純利益(円)	114.42	110.07	―	△ 3.8

2014年３月期　配当予想

※ 11月11日修正

配当方針

当社は、株主に対する利益還元を最優先に考え、配当につきましては、安定的な配当の維持を基本として配当性向、企業体質の強化及び内部留保の充実等を総合的に勘案のうえ決定しております。

1株当たり配当金		
2012年３月期	2013年３月期	2014年３月期 （予想）
15.00円	20.00円	25.00円 普通配当 22.00円 記念配当　3.00円

将来見通し等に関する注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。